

深山嶽の候補地における現地視察結果とそれを踏まえた環境省の考え

資料2-1

	栗原市の 現地での説明	現地視察結果	現地視察を踏まえた 環境省の考え
A. 地すべり、 崩壊等	<ul style="list-style-type: none"> 荒砥沢ダム周辺に岩手・宮城内陸地震の際に生じた大規模な崩壊箇所が存在することについて説明。 候補地内の地割れや候補地西端の崩壊箇所、及び継続的に崩壊が発生していること等について説明。 深山嶽地区・荒砥沢地区においては、軽く脆弱な堆積物の上に、固くて重い溶結凝灰岩が重なる構造の形成があり、大規模地すべりを発生させる素因となっていることについて説明。 安全性を確認するためにはボーリング調査が必要であり、ボーリング箇所を専門家に確認してもらうべきとの説明。 	<ul style="list-style-type: none"> 荒砥沢ダム周辺の大規模な崩壊箇所を確認。 候補地内の地割れや候補地西端の崩壊箇所について確認。 候補地周辺についても崩壊箇所を確認 	<ul style="list-style-type: none"> 選定手法において定めた既存データを用いて、土砂災害の危険性の高い箇所を除外。 候補地の表面だけではなく、地下の地質構造についても把握する必要があり、このために詳細調査が必要。 候補地内の詳細調査においては、地質・地盤性状(地質構成・構造、地質毎の土砂・岩盤区分、地下水の通りやすさ)、地下水性状(地下水位・水質、地下水の流向)の確認のため候補地における調査ボーリング、弾性波探査、標準貫入試験、現場透水試験等が必要。 候補地周辺については、詳細調査で地形・地質踏査が必要。